

月刊
さわやか

第120号
平成29年4月15日

《発行》
公益社団法人
日野市シルバー
人材センター
日野市日野本町2-4-7
TEL 042-1581-8171

本号で『月刊さわやか』創刊10周年

『月刊さわやか』はこの4月号で創刊10周年を迎えました。この機にあたり、当センターの三役からことばを寄せていただきました。



会長
北村 譲司

当センターの活動記録

『月刊さわやか』が創刊10周年を迎えたことは、ひとえに会員皆様のご協力の賜物と、誠に慶賀に存じます。

創刊に当たり私も三役の一人として、「機関紙」としての方向づけ、紙面構成、各種のコラムづくり等で、編集スタッフの皆さんと労苦を共にしたことを懐かしく思い出します。

この10年間は、センター創立30周年記念行事、公益社団法人への移行等々、躍動と変革に満ちた

期間でした。この間を、1号の休みもなく発行を続けた『月刊さわやか』はセンター活動の貴重な記録です。今後の更なる発展を期待して止みません。



副会長
有賀 信夫

読まれる紙面を目標に

私は平成18年4月に入会しました。『月刊さわやか』は、その1年後に創刊されたことになりました。日野市シルバーになじみがなく、自分が関わっていないイベントの記事が他人事のように感じられました。

『月刊さわやか』を隅から隅まで

会員数

平成29年2月28日

計 1,680名
男性 1,213名
女性 467名
2月入会者10名
(男9名、女1名)
2月退会者25名
(男14名、女11名)

で目を通すようになったのは、いつ頃からでしょうか。就業や委員会活動が、自分の生活の一部になった時、地域に根を下した時と言えそうです。

『月刊さわやか』は読まれていないと聞きますが、それは宿命です。むしろ、発行が10年続いているのは、必要とされていることの証明と言えます。今後も、より読まれる『月刊さわやか』を目標に、発行を続けてください。



常務理事
事務局長
増子 和男

会報紙は情報の架け橋

いさかいや行き違いの大きな要因に『疎通』の欠如や不十分さがあるのではないのでしょうか。

思っていることと考えていることを伝えるのは非常に難しい。また相手の言わんとするところを理解す

ることはもつと難しいものです。

現在、日野市シルバー人材センターには1700名弱の会員さんがおられます。年齢・経歴・考え方も様々な方々にセンターの現況や考えをお知らせするのは至難の業であります。しかし、それが会報紙の使命です。

これまでも紆余曲折を経ながら丸10年、120号の発行にいたしました。これからも大事なコミュニケーションツールとして、より良い『さわやか』を目指していきます。

会員作品展への出展をお願いします

第2回シルバーいきいき祭り
& リサイクルフェア(5月27日)
の会場で実施

● 出展品 絵画、写真、書、手芸品、工芸品、鉢物、その他

● 出展方法 4月28日(金)までに事務局あてメールか電話。

メール: silver@hino-scorp.jp
☎ 042-1581-8171

「今回6ページ建て」
2面 第3回地域班長会議
3面 女性限定入会案内説明会
5面 KY(危険予知)が肝心

平成28年度第3回 地域班長会議

会議不参加者への対応、丘陵地配達問題等で議論

平成28年度第3回地域班長会議が3月15日、生活・保健センターで開催されました。会議は地域委員会の高木委員の司会で開始。初めに、欠席の北村会長に代わり有賀副会長が挨拶しました。

有賀氏は「私が挨拶するのは2回目」と前置きし、1回目(一昨年9月)は会員減少のさ中で、歯止めをお願いをしたことを想起。今回は会員数も契約高も順調に推移しているとして、皆様のご協力のおかげ」とのべました。

議事はいつもどおり、事業実績報告、各委員会の活動報告、後期地域班会議での質問への回答、ブロック長会議の報告等があり、加えて今回は多摩川・浅川クリーン作戦への協力要請も。

ブロック長会議のあり方

このうち、懸案のブロック長会議のあり方について市川地域委員長から、同会議を規程化はしない(常設化しない)が、臨機応変にブロック長のみ会議、あるいは担当理事にも出席を要請する」との

地域委員会の検討結果が報告されました。

質疑に入り、各班長から活発に意見や質問が出されました。項目は多岐にわたりますが、とくに次の2点が注目されました。

1点目は、長年就業しているのに、地域班会議にもボランティア活動にも一度も参加しない会員の問題です。これに対し「自分の班では3分の1以上の会員の顔が分からない」民間の就業には期限がない。1年更新にして、そ



地域班長会議で挨拶する有賀副会長

のつど地域班会議の重要性を訴える」大画面談での説明を強化する」等々の声が上がりました。

2点目は、丘陵地での配達問題です。全戸配布の場合は、配分金に割り増しを」できれば3段階くらいの調整を」調整のため発注者との交渉を」との要請が出されました。

南平2班々長に川瀬氏

第3回地域班長会議では、南平2班の伊藤倭夫班長の辞任に伴って新班長に選出された川瀬明廣氏に、有賀副会長から委嘱状が交付されました。

また、会議出席の西平山2班の庄司和憲班長は3月末で退任。後任予定の上壁隆雄氏が同席しました。新年度からの班長交代は、次号でお知らせします。

多摩川・浅川クリーン作戦に参加しましょう

★4月23日(日)9時半～

★集合ⅡA・C・E・G・H・I
Jの各ブロック

理事会二ニュース

★第12回理事会 3月27日

- ・審議事項Ⅱ①正会員の入会(38名承認、4月1日57名入会)、
- ②委員会設置規程の一部改正、
- ③平成28年度補正予算、④平成29年度事業計画、⑤平成29年度収支予算、⑥資金調達及び設備投資の見込み

・報告事項Ⅱ①平成28年度事業実績(2月まで)Ⅱ契約金額累計6億144万円(前年度比3.8%増)、②平成28年度予算執行状況(2月末)、③各委員会の活動状況(5面参照)

「センター行事日程」

- 4月23日(日)多摩川・浅川クリーン作戦Ⅱ各ブロック
- 5月27日(土)シルバーいきいき祭り&リサイクルフェアⅡリサイクル事務所

配分金の支払日

- 4月20日(木)
- 5月19日(金)
- 6月20日(火)
- 7月20日(木)
- 8月18日(金)
- 9月20日(水)
- 10月20日(金)
- 11月20日(月)

第6回女性限定入会案内説明会

女性委員会が“女性向きの就業”をアピール

○シルバー人材センターって何か
敷居が高い感じがしたけれど、
今日の説明会に参加してビデ
オや事務局長さんの説明、女
性委員さんの就業体験などを
お聞きすると、私でもお役に
立てそうな気がしてきました。
○女性向きには、どのような仕事
があるのですか。
○カルチャー教室で講座を開設
するにはどうしたらよいですか。
——これらのコメントは、説明

会後の懇談会で参加者からいた
いたものです。
第6回女性限定入会案内説明
会が3月24日午前、当センター会
議室で行われ、一般市民の女性
15名が参加されました。

説明会は、DVDによるシルバー
人材センターの紹介、増子事務局
長による補足と当SCの内容説明
に続いて、女性委員会による円座
懇談会に移りました。

懇談会では初めに、女性委員
会の木原・上島両委員が就業体
験を披露しました。木原委員は

平成14年に入会、18年に事務
局から某製薬会社の仕事を紹介
され、最初はあまり乗り気でなかつ
たが、仲間もでき、仕事も面白く
なつて、昨年3月退職するまで、
10年間就業しました」

次に、上島委員は
はじめ保育園に2年間就業し
ましたが、その後共働きの家庭で
4歳のお子さんを、両親が仕事に
出掛け帰宅するまで預かる仕事
をしています、そのお子さんも

小学2年生になりました。いま
ではわたしにとつて掛け替えのな
い仕事になっています」
会場には、女性会員手づくりの
手芸品が陳列され、参加者が興
味深そうに鑑賞し、作り方など
を女性委員に尋ねていました。
1回平均19名を確保
今回で6回を数える女性限定
入会案内説明会ですが、第1回か
らの参加者の推移をみると、第1
回(15年3月)26名、第2回(15年
9月)15名、第3回(16年3月)31
名、第4回(16年7月)12名、第5
回(16年9月)17名とバラツキはあ
るものの1回平均19名を確保し、
所期の目的の会員増強、とりわけ
女性会員増強対策の一助になつて
いると思われまます。



手づくりの手芸品

屋外交流会

早春の郷土の森・ ぶらり散歩

館内の桜もほころび、周りの雪
柳、辛夷、菜の花なども春を待ち
かねたように咲き競っています。

ところは府中市の郷土の森博
物館、ときは3月31日、女性委
員会主催の屋外交流会が開催さ
れました。参加者は9名。

指導員はお馴染みの水橋桂一
氏、当日は冬のような寒い日でし
たが、参加した皆さんは元気一杯
文化財や庭園の眺めを満喫し、
サプライズでサントリーブール工
場の見学を楽しみました。



一同元気に散歩を楽しむ



参加者との円座懇談会

相次ぎ職場グループ交流会 業務委主催

公園清掃就業者交流会

業務委員会は、目玉の一つとして「職場グループ交流会」の開催に取り組んでおり、その第1号として昨年10月28日、あしなが育英会就業者の交流会を開催しました(本紙12月号で紹介)。

次に、その第2号として公園清掃就業者の交流会が2月28日、センター会議室で行われました。参加者は9職場(公園)から18名。1職場各2名ではなく、職場によって1〜4名まちまち。業務委員会から徳田委員長と根津委員、事務局から堀主事が出席。

交流会では、就業マニュアルに即して各現場の実情や要望を聞き、意見交換しました。とくに脚立の使用禁止を再確認しました。

学校事務就業者交流会

交流会第3号は学校事務就業者の交流会で、3月29日にセンター会議室で開催。市内17小学校の就業者(各校1名)中15名が参加しました(うち男性は6名)。

業務委員会から徳田委員長、



学校事務就業者交流会、挨拶は増子事務局長

大岡・宮原両委員、女性委員会から渋谷委員長、森久保副委員長、事務局から増子局長はじめ4名が出席。増子氏が挨拶し、宮原委員が司会を務めました。初めに徳田氏による交流会の趣旨説明、事務局から学校事務の仕様説明ののち、直ちに自由討議。各自からは、業務上わからないことへの対応、都職員との関係、休暇の取り方、お茶・接待、先生方との交流等、現場ならではの意見や悩みが出されました。

リサイクル事務所 年1度の謝恩フェア 掘り出し市

ごみゼロ推進課による
ダンボールコンポスト
の展示も

3月26日(日)9時半〜16時半、年に1度の謝恩フェア「掘り出し市」がリサイクル事務所で開催されました。当事務所では所属の所員18名と自転車再生グループ3名の計21名で接客しましたが、対応に追われました。

当日は真冬並みの寒さ、加えて雨模様様の天候となり、お客様の来場は芳しくありませんでした。

フェアの広告として、3月15日付の広報ひの、市内掲示板(チラシ広告には、雨に強いといわれるコート紙を使用)およびポスターリングに加え、市の地域協働課とごみゼロ推進課のご協力を得て自治会回覧板でもお知らせしました。

今回の販売には、再生自転車はありませんでしたが、家具や食

器および雑貨にはそれぞれ個別に値付けをしました。約半分は20%OFF、残りは30〜50%OFFとし、よりリーズナブルな価格を設定しました。この中で、食器類の売り上げが好調でした。入学生就職転勤の時期の関係かもしれません。

また、今回の出店には多肉植物のグループも加わり、多肉植物の寄せ植えなどの販売を行いました。市からはごみゼロ推進課によるダンボールコンポストの展示が行われ、環境にやさしい街づくりへの取り組みが示されました。今後リサイクル事務所は再生可能な社会への一端を担うことが重要となるでしょう。



市によるダンボールコンポストの展示

就業中2・5m梯子からの転落事故を受け 作業現場でのKY(危険予知)が肝心

「これは大変な事故だ」身につまされる！——安全管理委員会の会議で、思わずこんな声がありました。

この事故は2月中旬の午後、市内の公共施設で起こりました。

同施設に遊びに来ていた小学生から、廊下の高所にお菓子の袋があるので取ってほしい、と声がかかりました。受付で就業していた会員のA氏が、他の男性(非会員)と協力して、2・5m梯子を使って取ることにしました(写真上)。

男性が梯子の足を押さえ、A氏が長い棒(写真下)を手に梯子を最上段のすぐ下までのぼり、棒でお菓子を落としました。しかし、



転落事故当時と同型の梯子



事故で使用された棒

はずみでA氏も落下。周囲に手をかける所は皆無でした。

A氏は救急車で病院に搬送されましたが、両足骨折、踵の複雑骨折に腰部打撲。脳内出血もありました。

この事故には、一般の傷害事故にはない特徴があります。①就業と直接関係ない作業。②子どもへの親切心から起きた。③現場の安全にまつたく無防備——。

安全管理委員会では親切心から起きやすい事故だ。しかし安全対策がなっていない。まず現場でのKY(危険予知)が肝心。危険と思ったら手を出さないこと。等々話し合いました。

平成29年3月度 各委員会の活動

【総務委員会】

2月28日開催。①会員アンケート(完全版)の内容等を検討②会員相互の交流会推進チーム(実行チーム)の実施計画ほか③平成29年度事業計画についての協議。

【事業委員会】

23日開催。①就業内容と応募状況、2月実績報告②新規事業取り組み・進捗状況Ⅱサロン、買い物代行、他SCの事例検討③就業開拓推進チームの活動状況。

【業務委員会】

9日開催。①就業案内と応募状況、1月実績報告②職群班事業の拡大と問題点の改善③職場グループ交流会(公園)④ガイドブック作成(表装・表具、除草)。

【地域委員会】

1日開催。①第3回地域班長会議の内容・役割り分担を確認②ブロック長会議の位置づけ③今年度事業計画進捗状況の報告④29年度事業計画の提案・検討。

【女性委員会】

8、22日開催。①屋外交流会、雨天のため31日に順延②女性委

員会日よりNo.6発行③第6回女性限定入会案内説明会の準備④29年度活動計画の提案・検討。

【安全管理委員会】

2日開催。①2・5mからの転落事故について協議、KY(危険予知)の呼びかけ②平成29年度安全対策基本・実施計画(体力測定会と自転車シミュレータ研修)。

【広報委員会】

6日開催。①月刊さわやか3月号の確認②月刊さわやか4月号紙面計画の策定③対外広報グループの活動報告④平成29年度の広報・編集活動計画。

それってなに？

KY(危険予知)

KYとは、一般に「空気が読めない人」のことですが、安全管理の分野では「危険予知」の略称として使われます。昨年7月、都SC第七ブロックの安全研修会が日野市で開催されましたが、研修のポイントが「事故防止KYシート」の実習でした。植木・除草・清掃等の各種作業現場の絵を見て、どんな危険が潜んでいるか予知する訓練です。上記の梯子作業の場合、つかまる所のない空間を2・5mのぼることの危険を事前に予知することが肝心でした。

今年の安全標語 を募集します

今年も、事故ゼロを目指し安全就業の徹底を目標にした安全標語を募集します。

今年のテーマは

- ・転倒・墜落・転落事故防止
- ・自転車事故の防止

の2本です。皆様の振るつてのご応募をお待ちしています。

○応募点数

1人何点でも結構です。

○応募方法

ハガキに地域班名と氏名を記入し、日野市シルバー人材センター事務局あて送付、または直接ご持参ください。

○締切日 5月15日

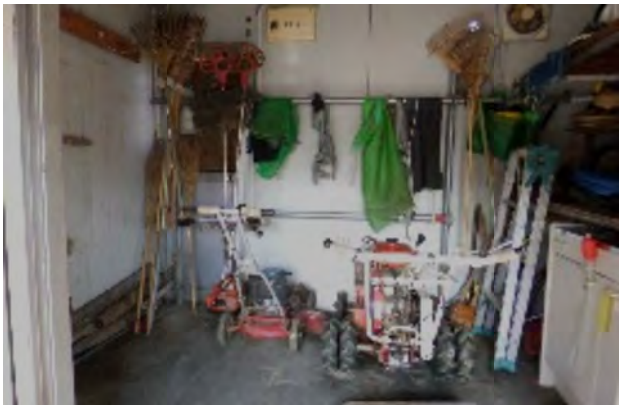
最優秀作品1点、入選作品5点を選考し、入選者は本紙その他で発表します。

(安全管理委員会)

冬期職場安全巡回の 総括討議から

平成28年度冬期(11～2月)の職場安全巡回の総括討議が、4月6日の安全管理委員会で行われました。巡回対象は公園清掃、植木・除草班、民間アパート等10カ所(本紙1月号で紹介)。

全体として安全上の重大事項はありませんが、注意事項として植木作業で安全ベルトの着用がなかったことが指摘されました。他方、公園清掃では各種用具が倉庫にきちんと格納されている状



万願寺中央公園の物置(奥住委員撮影)

況が確認されました(写真参照)。それを多とした上で、「これら用具は年に1度は整備点検してほしい」との声が上がっていました。

緊急連絡カードの携帯を

民間アパートでは、安全上の問題はほとんどありませんが、会員証も緊急連絡カードも付けていないケースが見られました。

この機会に、安全管理委員会では、すべての現場作業、とくに屋外作業においては、緊急連絡カードを必ず携帯するように改めて呼びかけることにしました。

昨年度事故は計8件

前年度より大幅に減少

平成28年度の事故件数は、2月中旬の転落事故(5面で紹介)を含め傷害5件、賠償3件の計8件でした。平成26年度の計13件、27年度の計12件より大幅に減少しました。

市実施の特定健診、いきいき健診は必ず受けましょう

★各種がん検診、肝炎ウイルス検診、骨粗しょう症検査等については市健康課にお問い合わせください。

新年度がはじまった

井手 了

待ち焦がれた春の到来に生き物たちが活発に動き出して、幾日か経ちました。春の訪れは木々の芽吹きとともに人の心も芽吹かせてくれ、新しい時の始まりを感じさせてくれます。

新入生たちの初々しい笑顔、着慣れぬスーツにやや緊張した面持ちの新入社員たち。新年度がはじまりました。シルバー人材センターも新年度を迎えましたね。私も広報委員会の一員として、センターや会員の皆さんにいくばくかの貢献ができればと思います。

しかし会社生活を離れてからは、その初々しさも活気もどこかに忘れてきたかのようです。歳のせい？ 組織に属していないから？ 生活に区切りがないから？ 理由はいろいろありますが……。

人間も自然の生き物、身体も心も浮き立たせたいものです。もうすぐ新緑の季節。歩くのが好きな私は、日野の街はもちろん、多摩の森や山へと足を延ばして歩き回ろうと思っています。そこでまた活力をもらって初心に帰り、仕事や遊びの区別なく日々の活動に励んでいきたいものです。

(旭が丘1班)